

ヘレニズムの華

# ペルガモンとシルクロード

Pergamon, the Flower of Hellenism, and Silk Road



平成21年  
5月16日(土)～6月28日(日)

開館時間：9:00～17:00(ただし、入館は16:30まで)

休館日：月曜日

観覧料：大人／800円、高大生／500円、  
中学生以下無料

[前売は各200円引、団体(20名以上)は各100円引]

■70歳以上・身障者の方は無料です。受付で証明できるものを  
ご提示ください。

主催：尾道市立美術館、朝日新聞社

後援：文化庁、国際交流基金、  
大阪神戸ドイツ連邦共和国総領事館、  
NHK広島放送局、尾道ケーブルテレビ、  
尾道エフエム放送

協力：ルフハンザカーゴAG、  
日本通運株式会社



尾道市立美術館

〒722-0032 尾道市西土堂町17-19 千光寺公園内 Tel.0848-23-2281

ペルガモン大祭壇(彫刻)断片[巨人族の頭  
前170年頃 大理石 高31.0cm  
古代美術蒐集館(ベルリン国立博物館群)蔵  
SMB/Antikensammlung, Foto: J.Laurentius

発掘者カール・フリーマンと

平山郁夫のまなざし

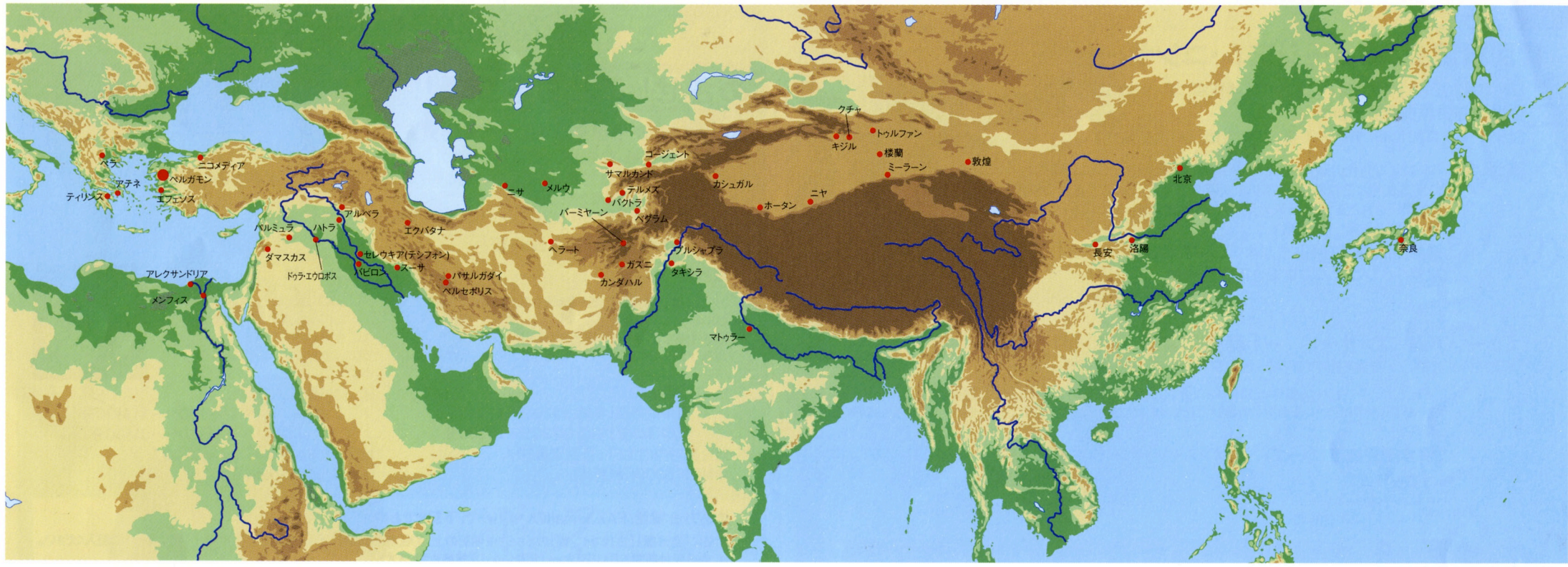


仏頭

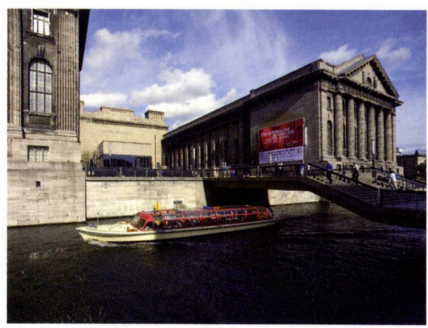
著者 平山郁夫  
マナカニスツコ  
平山郁夫

平山郁夫(仏頭 着色ストック アフガニスタン出土)  
1997年 紙本着色 59.7×44.5cm 平山郁夫シルクロード美術館蔵

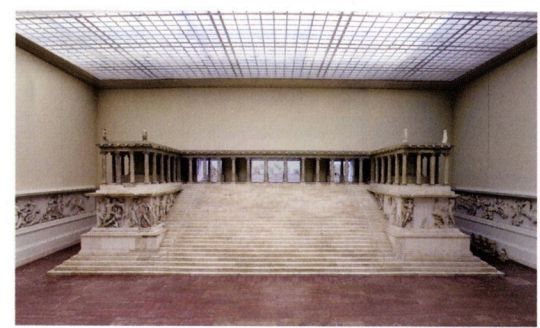




シルクロード全域図



① 現在のベルガモン博物館



② 現在のベルガモン大祭壇



前2世紀前半の小アジア

年間100万人が訪れるベルリンのベルガモン博物館。このヨーロッパ有数の博物館を訪れる人は誰も、中央大ホールに復元された巨大な建築物に目を奪われ、思わず息のみます。ベルガモン博物館の至宝、ベルガモン大祭壇です。特に基壇部を取り巻く神々と巨人族の戦いを描いた浮彫りフリーズは、ギリシア・ヘレニズム芸術の傑作とされています。

圧倒的な存在感をもって人々を魅了してやまないこの大祭壇はかつてトルコの北西部、エーゲ海沿岸に近いベルガモンのアクロポリスの丘に建っていました。アレクサンドロス大王の東征以後に始まるヘレニズム時代、ベルガモンはアッタロス朝ベルガモン王国(前281-133年)の都として、ヘレニズム文化の最も栄えた都市でした。今から130年前、1878年にベルガモンを最初に発掘したドイツのカール・フーマンは「我々は一つの文化期全体を発見したのだ」という言葉を残しました。そしてこのフーマンによって大祭壇はベルリンに運ばれ、復元されたのです。

またヘレニズム時代は、ギリシア文化が、それまででない地域的な広がりをみせた時代でもありました。ギリシア風(ヘレニスティク)の文化はやがて仏教と出会い、ガンダーラ仏教美術に結晶します。さらにその流れはシルクロードを経て、遠く日本にまで到達することになるのです。

本展覧会は、ベルリンのベルガモン博物館「古代美術蒐集館」の協力を得て、未公開品を含む同館所蔵のベルガモン出土の貴重な資料や、ガンダーラ美術の国内最大コレクションを誇る平山都夫コレクションのヘレニズムと仏教の見事な融合を示す優品を展示し、地域と時代を超えて広がる「世界文化」ヘレニズムの魅力を紹介しようとするものです。

発掘者カール・フーマンと画家平山都夫のまなざしを通して、ヘレニズム文化の時空を越えたダイナミズムに思いを馳せていただければと思います。



③ ベルガモンの発掘初期の調査隊メンバー



④ 大祭壇基礎部、北から(1880年代)



⑤ 大祭壇基礎部(現在)



⑥ アスクレピオス神殿からベルガモンの遺丘を望む